

平成27年度「大阪市統一テスト」検証シート

学校名	大阪市立堀江中学校
生徒数(人)	205

平均正答率（点）

	国語	社会	数学	理科	英語
学校	69.3	64.4	62.4	59.8	66.6
大阪市	64.7	57.4	59.3	55.6	59.8

結果の概要

平均正答率は全ての教科で大阪市の平均を上回った。国語は4.6P、社会は7.0P、数学は3.1P、理科は4.2P、英語は6.8P上回った。さらに、全てのカテゴリー別正答率においても大阪市の平均を上回った。また、特徴的などころとしては、「活用の正答率」が4.8~8.1P、国語以外の教科で「記述型の正答率」が8.8~12.2P、大阪市平均と比較して高い結果が得られた。しかし、全体の平均としては高い結果が得られたものの、教科ごとの得点分布では、社会、理科、英語で20~40%の生徒の数多く、学力の2極化の傾向が見られる。

成果と今後取り組むべき課題

全体的に解答し易い問題が多かったこともあり、全ての教科で高い平均正答率が得られた。日常的な学習状況も規律正しく実施できているので、基礎的・基本的な学力については一定の成果が見られた。今後は、学習意欲を高め、基礎的・基本的な知識理解力の定着とともに、言語活動の充実した学習を積極的に活用し、思考力・判断力・表現力の向上をめざした学力の伸長を図ることがさらに必要である。また、学力の2極化を改善するため、学力の定着していない生徒への丁寧な対応や支援を行うことが急務である。学習規律の確立に向けては、学校全体として継続して取り組む。